



新規投資家向け資料

2026.6.26

1 MIXI GROUPの概要

2 セグメント概要

┃スポーツ

┃ライフスタイル

┃デジタルエンターテインメント

┃投資

3 キャピタルアロケーション方針

4 サステナビリティの取り組み

5 中期ビジョン (2026年3月期通期決算資料再掲)

6 Appendix

- 「コミュニケーション」を軸に置いた事業展開をしています

スポーツセグメント

TIPSTAR

POINTSBET



netkeirin

FC TOKYO

SPORTS

スポーツ事業

**LIFE
STYLE**

ライフスタイル事業

ライフスタイルセグメント



みてね



rainimo

mixi



Romi

**DIGITAL
ENTER-
TAINMENT**

デジタル
エンターテインメント
事業

INVESTMENT

投資事業

デジタルエンターテインメントセグメント



ゴトゴマン



- FY2004にSNS「mixi」を開発して以降「コミュニケーション」を軸に事業を展開してきました。
- FY2014にSNSのノウハウを生かしたゲーム「モンスターストライク」をリリース。
- FY2019からスポーツ領域に参入し、友達と楽しめる「TIPSTAR」を中心に成長中

コミュニケーションを
軸に多角化

FY2019
スポーツ



TIPSTAR



FC TOKYO

POINTSBET

FY2014
デジタル
エンタメ



コトダマ



FY2004

ライフ
スタイル

mixi

minimo



みてね



「We-Time」の価値が高まる要素

1 AIによる「余暇時間」の創出

AIが仕事や家事を効率化し、「We-Time」に費やす余暇が増加

2 「信頼」に基づく消費の拡大（We-Timeとしての消費機会拡大）

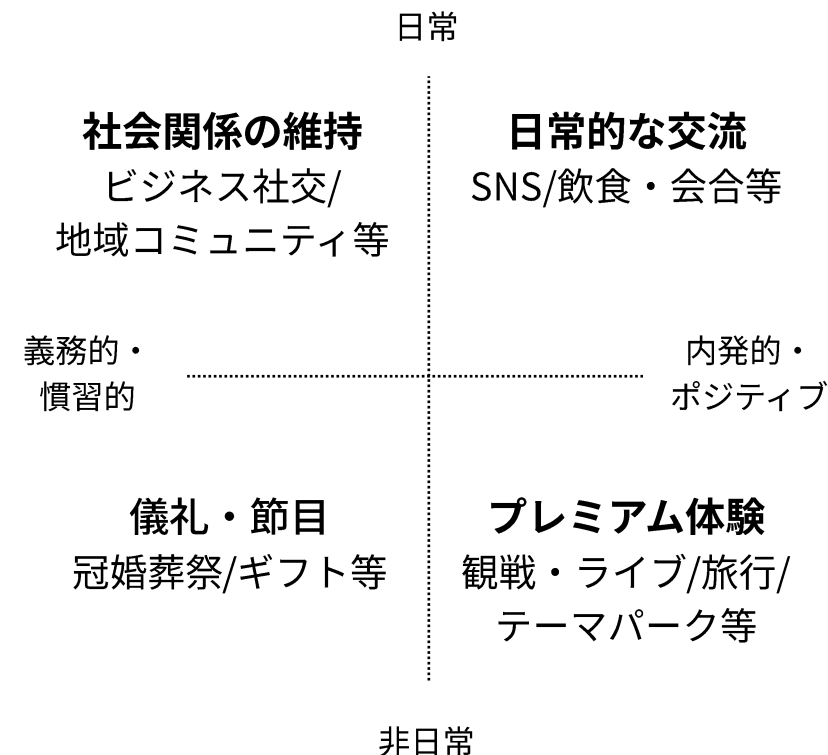
AIで情報が氾濫するほど信頼できる相手との会話や推奨が消費の起点となり「誰かと一緒に」楽しむ消費機会が拡大

3 「共同体験」のプレミアム化

1人の時間が安く手軽に満たされるほど、誰かと感情を共有する体験の希少性が高まり、「特別な価値」となる

「We-Timeエコノミー」全体像

グローバルで市場規模は
10兆～15兆ドル規模（当社推計）



MIXIの勝ち筋

優れたコンテンツ



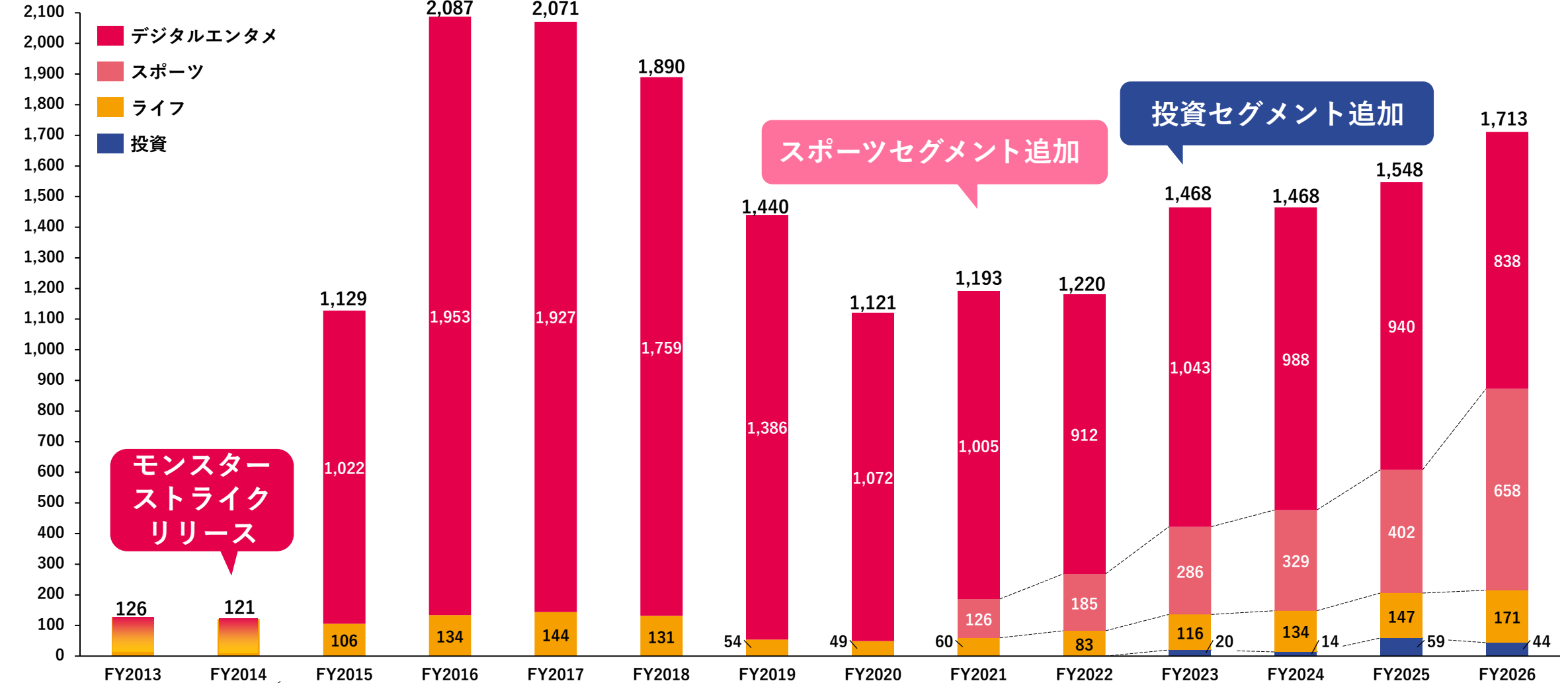
- 1 口コミで広がる**
口コミだから低コスト
- 2 友だちと遊ぶから続ける**
みんなでやるから、続けたいくなる
- 3 共同体験で利用意欲・エンゲージメントを高める**
みんなでの盛り上がりが利用や消費を後押し

高利益率の事業の実現

(全盛期のSNS「mixi」は40%超の利益率、モンスターストライクは60%超の利益率)

セグメント別売上高推移

単位：億円



モンスターストライク
リリース

スポーツセグメント追加

投資セグメント追加



1 MIXI GROUPの概要

2 セグメント概要

┃スポーツ

┃ライフスタイル

┃デジタルエンターテインメント

┃投資

3 キャピタルアロケーション方針

4 サステナビリティの取り組み

5 中期ビジョン (2026年3月期通期決算資料再掲)

6 Appendix

—— ベッティング事業 ——



競輪・オートレース
車券販売サイト

『チャリロト』

TIPSTAR

競輪・オートレース投票サービス

『TIPSTAR』



国内最大級の
競馬総合メディア

『netkeiba』



競輪の魅力を
存分に楽しめるメディア

『netkeirin』

POINTSBET

豪州・カナダにおけるオンライン
スポーツベッティング及びiGaming事業

『PointsBet Holdings Limited』

—— 観戦事業 ——



B.LEAGUE所属
プロバスケットボールチーム

『千葉ジェッツ』



FC TOKYO

明治安田 J 1 リーグ
プロサッカークラブ

『FC東京』

LaLa arena
TOKYO-BAY

アリーナ事業における
空間貸出業務や興行誘致等

『株式会社TOKYO-BAY
アリーナマネジメント』

Fansta

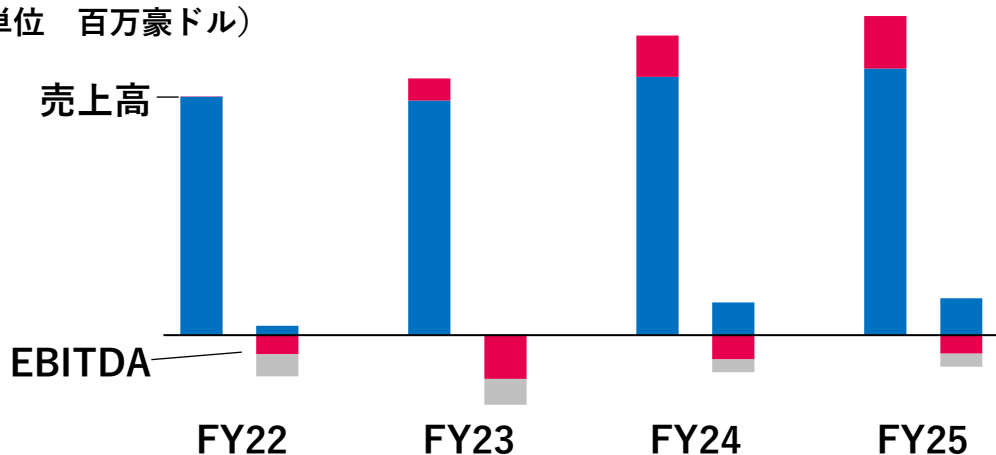
スポーツ観戦できるお店が
見つかる

『Fansta』

- 規模の大きい豪州市場は安定的な事業成長を見込む
- カナダ市場は法整備等により30%超の市場成長を見込む。市場成長の波に乗り収益化を目指す

PointsBet社 豪州/カナダ セグメント実績

(単位 百万豪ドル)



		2022年6月期	2023年6月期	2024年6月期	2025年6月期
豪州	売上高	195	192	211	218
	EBITDA	7	0	26	30
カナダ	売上高	0	18	33	42
	EBITDA	▲15	▲35	▲19	▲15
その他	売上高	0	0	0	0
	EBITDA	▲18	▲21	▲10	▲10
連結	売上高	195	210	245	261
	EBITDA	▲26	▲56	▲3	4

豪州オンラインベッティング市場の魅力



- ・ 市場はオンライン化により伸長中
- ・ スポーツベッティング（バスケットボール、フットボール等）は、若者の支持を受ける成長市場。レーシング（競馬等）は伝統的で大きな市場

豪州オンラインベッティング産業

スポーツ

レーシング

カナダオンラインベッティング市場の魅力



- ・ 市場は法整備等が進行中。オンタリオ州に続きアルバータ州も来年解禁の準備が進んでおり、他の州での解禁も見込まれている、今後の可能性が高い市場
- ・ スポーツとiGamingの両市場で年間30%以上の成長を見込む^{*1}

カナダオンラインベッティング産業

スポーツ

iGaming^{*2}

^{*1} アルバータ州およびブリティッシュコロンビア州の合法化を前提とした自社調査による

^{*2} iGamingにはオンラインスロット、テーブルゲーム、ライブディーラー、ビデオポーカーが含まれます

- ブランディング、技術面で大きなアドバンテージを持つPointsBet社をグループに迎え、更にベッティング事業の拡大を加速



MIXIの強み（ソーシャルベッティング関連）



モンスターストライクやTIPSTARの運営で培った

- ・ ソーシャルベッティング運営への豊富な知見
- ・ バイラルによるサービス拡大のノウハウ

PointsBet社の強み



- ・ 若者を意識したスポーツベッティング中心のブランディング*
- ・ 自社開発のベッティングシステムにより、サービスの革新や事業拡大が可能
- ・ 直感的に使いやすいUI/UXを提供
- ・ 優れた顧客管理技術（データサイエンス、サービス、CRM等）で、リテンション向上やプロモーション効率改善を実現

豪州、カナダ、日本市場での
ソーシャルベッティングの確立と市場トッププレイヤーを目指す

* PointsBetはユーザーの65%以上が34歳以下と競合他社より若い。自社調査による

1 MIXI GROUPの概要

2 セグメント概要

┃スポーツ

┃ライフスタイル

┃デジタルエンターテインメント

┃投資

3 キャピタルアロケーション方針

4 サステナビリティの取り組み

5 中期ビジョン (2026年3月期通期決算資料再掲)

6 Appendix



子どもの写真・動画共有アプリ

『家族アルバム みてね』



あなたにぴったりの
サロンスタッフが見つかるアプリ

『minimo』



ソーシャル・
ネットワーキング サービス

『mixi』



ソーシャル・
ネットワーキング サービス

『mixi2』

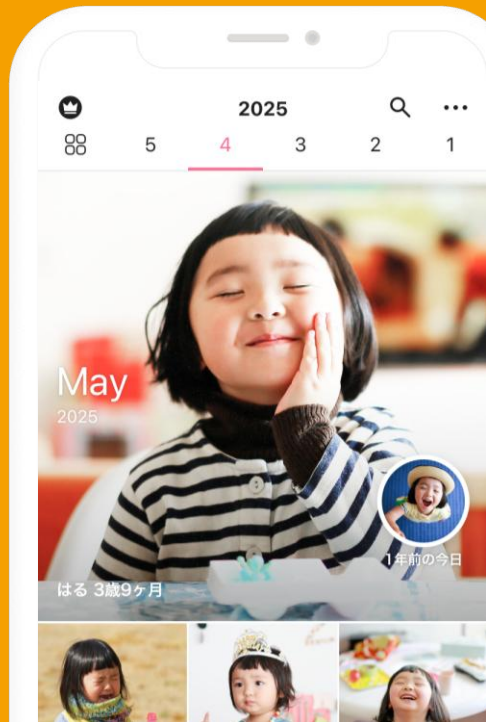


ペットのように癒し、
家族のように理解してくれるロボット

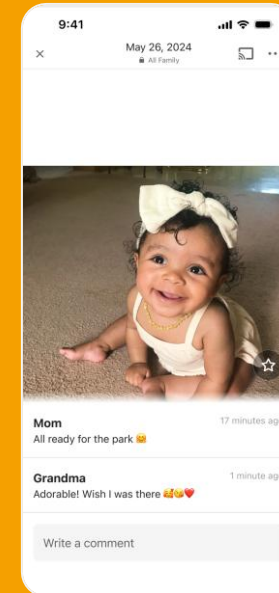
『Romi（ロミィ）』

- お子様の写真・動画を家族と簡単に共有できる無料のサービス
- 公開範囲の選択ができ、家族間で写真にコメントを入れたりコミュニケーションがとれる

写真ストレージ

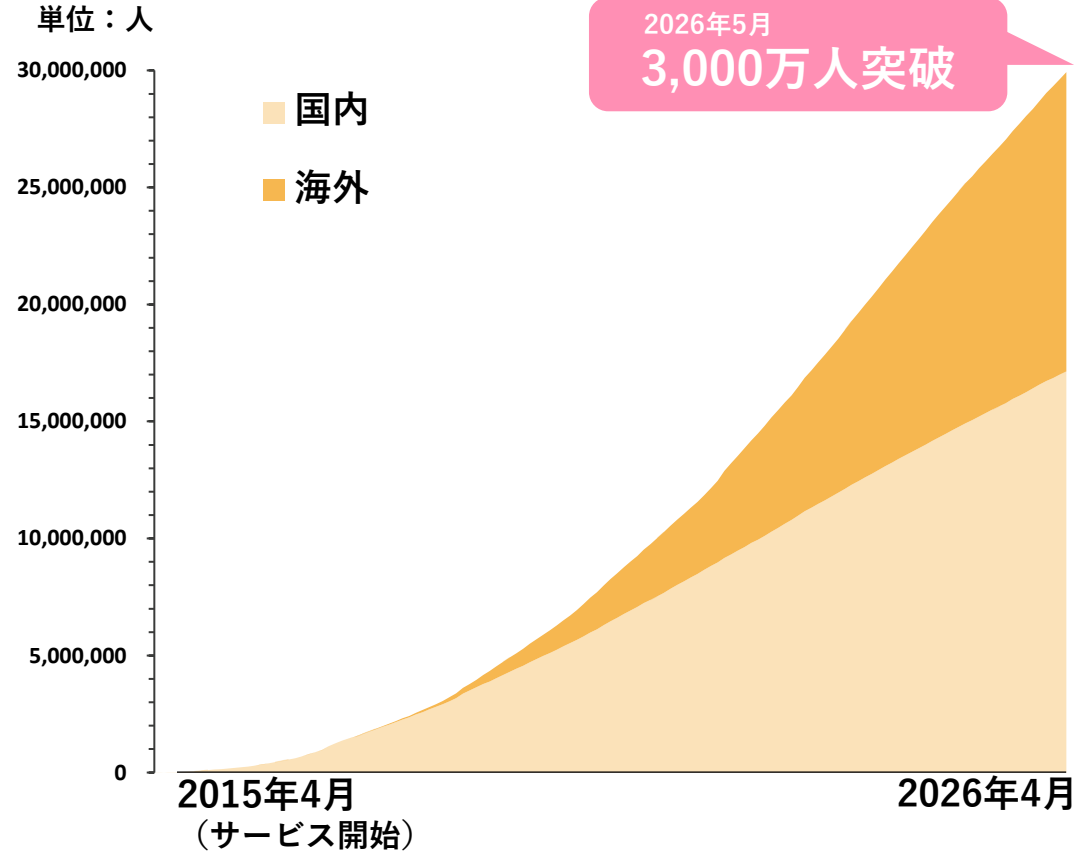


SNS



ユーザー数推移（国内・海外）

複数か国での展開



- 現在7言語175か国にて展開中
- 北米中心に展開し、マネタイズへ向けユーザー基盤を強化



- 「みてね経済圏」を拡大し、広くマネタイズを展開中



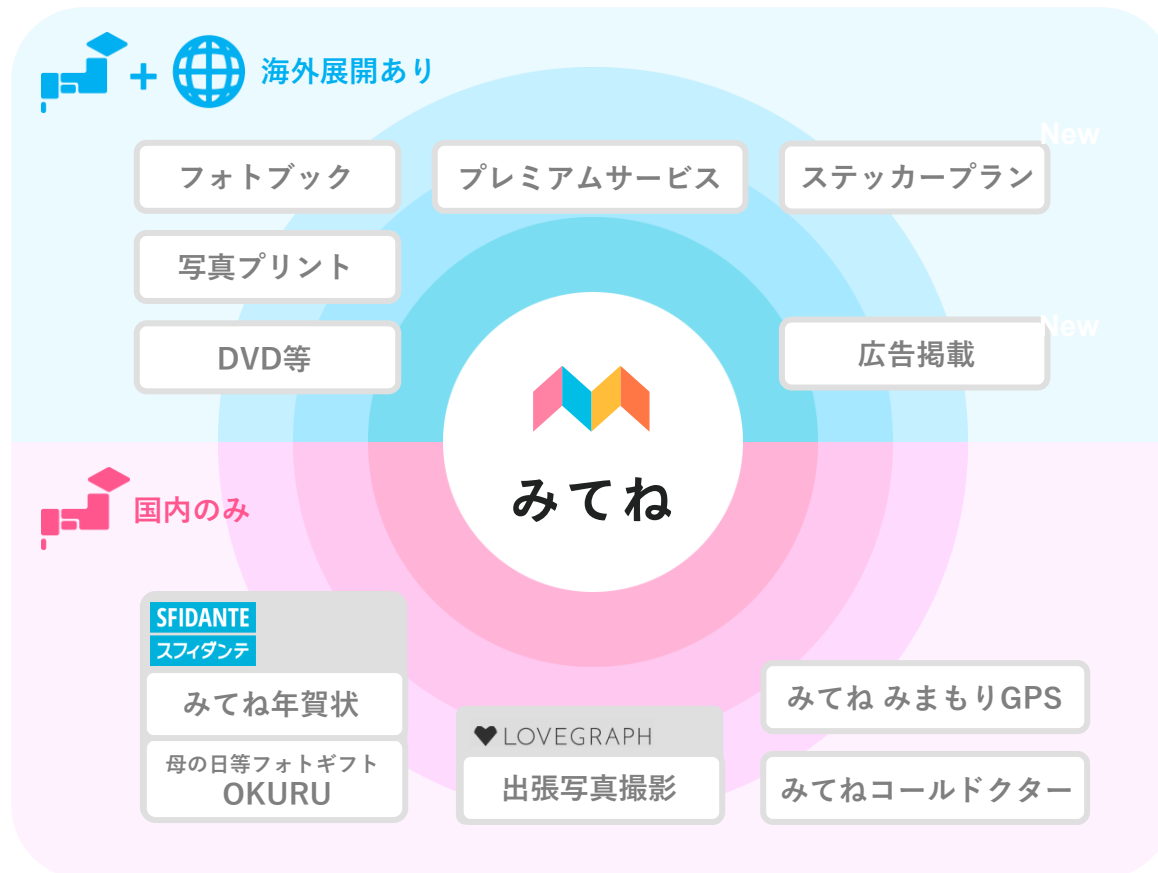
フォトブック



年賀状



母の日ギフト



DVD



ステッカープラン



GPS

1 MIXI GROUPの概要

2 セグメント概要

┃スポーツ

┃ライフスタイル

┃デジタルエンターテインメント

┃投資

3 キャピタルアロケーション方針

4 サステナビリティの取り組み

5 中期ビジョン (2026年3月期通期決算資料再掲)

6 Appendix



ひっぱりハンティングRPG
『モンスターストライク』



「ことば」で闘う新感覚RPG
『共闘ことばRPG コトダマン』

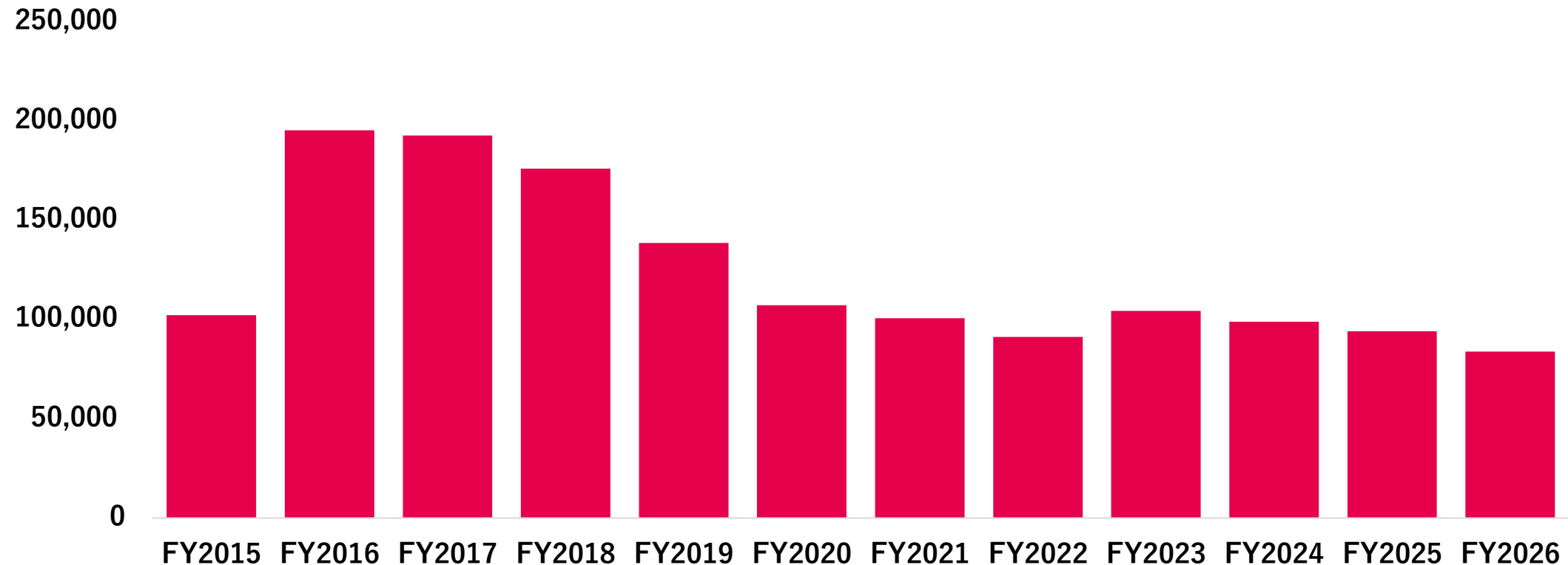


『ストライクワールド』

- 2013年10月（FY2014Q3）より「モンスターストライク」を提供開始し、事業が拡大
- 2015年9月（FY2016Q2）売上ランキング（※）において「モンスターストライク」が初めて1位を獲得
- モンスターストライクの利用者数は国内外で6,500万人を突破

※「App Annie Worldwide Index」ゲーム編 売上ランキング

単位：百万円



※FY2021以前は「エンターテインメント事業」として一部のスポーツ等ゲーム以外の事業を含む

STRIKE WORLD ソフトローンチ

- モンスターストライクのグローバル版「STRIKE WORLD」は4月に本格運用開始
- 通信面やマルチプレイ体験の改善を進め、インド市場における成長を目指す



1 MIXI GROUPの概要

2 セグメント概要

| スポーツ

| ライフスタイル

| デジタルエンターテインメント

| 投資

3 キャピタルアロケーション方針

4 サステナビリティの取り組み

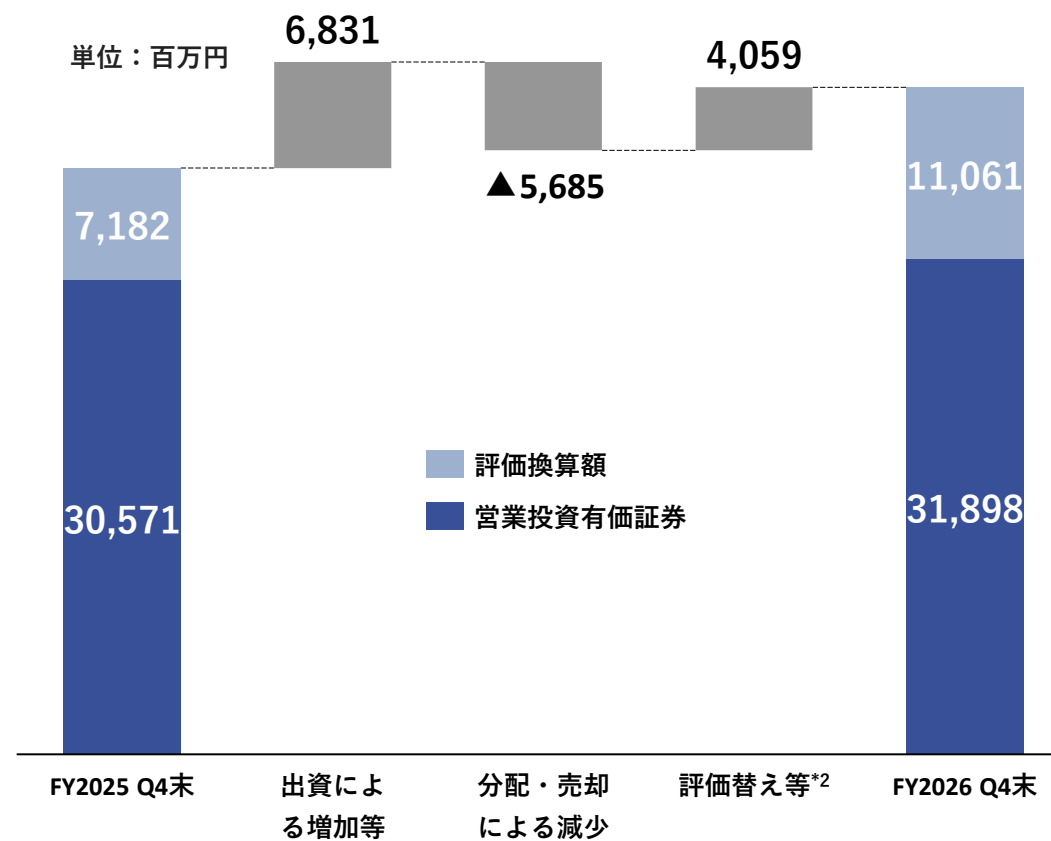
5 中期ビジョン (2026年3月期通期決算資料再掲)

6 Appendix

主な投資先 (2025年12月末現在)



運用総額*1



(2026年3月末現在)

*1:運用総額の計算においては、営業投資有価証券のBS計上額に加え、直近のファイナンス価格を時価(投資の減損を認識した場合には、次回ファイナンスまでは当該減損後の簿価を時価とみなす)として運用総額を試算しています

*2:評価替え等には、未上場株式の時価変動(減損後評価額)、上場株式持分の時価変動(期末の終値)、VCファンドの評価損益及び為替換算差額等が含まれています

1 MIXI GROUPの概要

2 セグメント概要

┃スポーツ

┃ライフスタイル

┃デジタルエンターテインメント

┃投資

3 キャピタルアロケーション方針

4 サステナビリティの取り組み

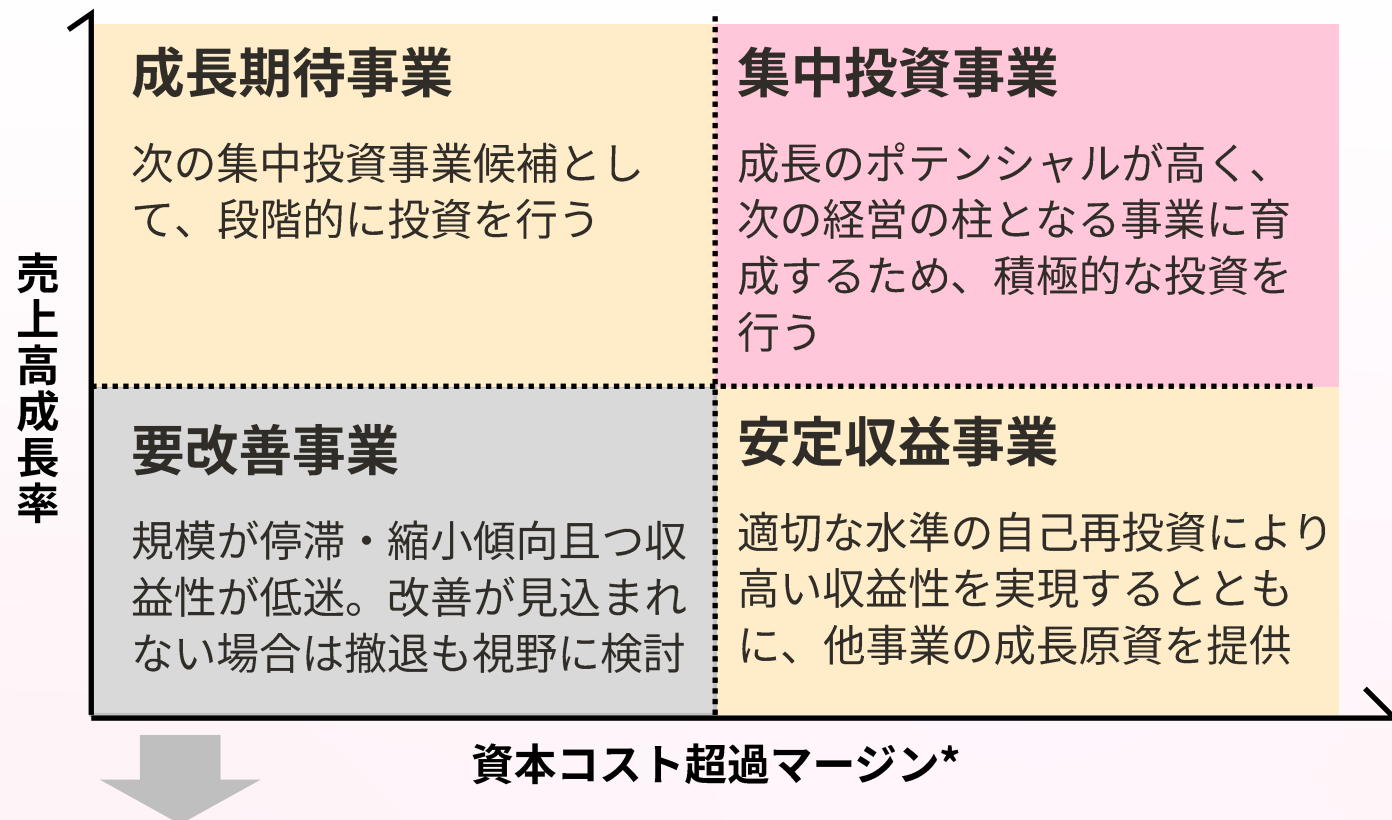
5 中期ビジョン (2026年3月期通期決算資料再掲)

6 Appendix

- 事業ポートフォリオマネジメント方針に基づく事業投資やM&Aを行うことで、利益の最大化を目指す
- 利益成長による増配を目指す

キャピタルリソース	アロケーション		考え方
安定事業からのCF	事業投資	集中投資事業	・ 事業ポートフォリオマネジメント方針に基づき成長可能性が高い事業に多く配分
		安定収益事業	
		成長期待事業	
	株主還元		・ 利益成長局面における適切な株主還元
現預金/借入金	機動的成長資金	M&A	・ M&Aに積極投資 ・ 営業CFを超えて投資をすべき期待事業が創出された場合にも備える
		事業投資	
		安全資金	

- 事業ポートフォリオマネジメントの考え方に基づき、資本効率性を踏まえ動的な資源配分を行う



MIXIの事業ポートフォリオは

- ・ 売上高成長率（成長性）
- ・ 資本コスト超過マージン（資本コストに対する収益性）の

2軸でマッピングし、各ハードルレートを基準に4つのステージで管理

事業の取捨選択を含め、動的な資源配分を実施

* 資本コスト超過マージンは、EBITDAマージンと、WACCより算出した目標EBITDAマージン（ハードルレート）との差分として定義

WACC：6.18%

株主資本コスト：7.40%

※共に2026年3月末時点

一定期間にわたり評価指標が改善されない場合、「再編・撤退検討プロセス」へ移行。事業撤退や売却を含めた意思決定を行う

- 株主資本水準の適正化が進み、3年平均ROEは株主資本コストを上回る水準に到達。
今後の利益成長局面への移行を踏まえ、配当性向の引き上げを行うことで、株主還元を強める

利益水準

下降局面

上昇局面

これまでの方針

株主配当

配当性向20%または株主資本配当率（DOE）5%を
目安とする

その他方針

消却は5%を上限に実施

自社株買いは必要に応じて機動的に実行

今後の方針

株主配当

配当性向**40%**または株主資本配当率（DOE）5%を
目安とする

その他方針

変更なし

1 MIXI GROUPの概要

2 セグメント概要

┃スポーツ

┃ライフスタイル

┃デジタルエンターテインメント

┃投資

3 キャピタルアロケーション方針

4 サステナビリティの取り組み

5 中期ビジョン (2026年3月期通期決算資料再掲)

6 Appendix

MIXI GROUP人権方針

MIXI GROUP HUMAN RIGHTS POLICY

MIXI GROUPは、「心もつなぐコミュニケーションサービスを創造することで、豊かな社会に貢献する」企業として、MIXI GROUPで働く私たちの誰もが遵守すべき共通の指針を「[MIXI GROUPビジネスコンダクトガイドライン](#)」に定めています。

当該ガイドラインにおいて、人権に関するMIXI GROUPの基本的な姿勢を掲げており、人権に関する国際規範の尊重、人権の尊重、人権方針の遵守・差別の禁止について定めています。

「MIXI GROUP人権方針」（以下、本方針）は、「MIXI GROUPビジネスコンダクトガイドライン」に基づき、MIXI GROUPの人権に対する責任を明確に示すものです。

MIXI GROUPは、あらゆる事業活動によって引き起こされる可能性のある直接または間接的な人権への負の影響を認識し、事業活動に関わるすべての人の人権を尊重するため、代表取締役社長が責任者となり、人権尊重の取組みを推進します。

01. 尊重する人権

MIXI GROUPは、「国際人権章典」「労働における基本的原則および権利に関するILO宣言」などに規定される国際的に認められた人権を尊重します。また、児童労働や強制労働の排除、結社の自由および団体交渉権の尊重といった事項について深く認識し、その達成に向けて努力を重ね、持続可能な労働環境の構築を目指します。加えて、国連の「ビジネスと人権に関する指導原則」、「子どもの権利とビジネス原則」に則り、事業活動を行う各国・地域で適用される法令を遵守します。

なお、国際的に認められた人権と各国・地域の法令との間に矛盾がある場合、国際的に認められた人権を尊重するための方法を追求していきます。

02. 適用範囲

本方針は、人権尊重への取組みに対するMIXI GROUPの責任を示すものであり、MIXI GROUPのすべての役職員に適用します。また、すべてのビジネスパートナーに対しても、本方針を支持いただくことを期待しています。

- 各取締役候補者・監査役の保有するスキルのうち、当期に特に発揮を期待するものは以下の通りです。
 なお、各期の方針に基づき見直しを行っております。

役職		取締役							監査役			
氏名		木村 弘毅	島村 恒平	村瀬 龍馬	笠原 健治	藤田 明久 社外 独立	渡瀬 ひろみ 社外 独立	河合 俊明 社外 独立	西村 裕一郎 社外 独立	平尾 智是 社外 独立	上田 望美 社外 独立	高山 清子 社外 独立
男性/女性		男性	男性	男性	男性	男性	女性	男性	男性	男性	女性	女性
事業 ドメイン	プラットフォーム ビジネス	●			●		●	●				
	テクノロジー・AI	●		●	●							
経営 機能	事業ポートフォリオ マネジメント・ 資本政策		●			●		●				
	M&A・PMI	●	●		●	●	●	●				
	組織・人材開発		●	●		●	●					
監督・ 統治	ガバナンス・ 情報開示	●	●			●	●	●	●	●	●	●
	財務会計		●									●
	コンプライアンス・ 内部統制		●	●	●				●	●	●	●

(注) 1. 上記一覧表には、現任の監査役も含まれております。

< 指名・報酬委員会の役員構成（社内取締役2名、社外取締役3名） >

委員長：藤田 明久 委員：渡瀬 ひろみ、河合 俊明、木村 弘毅、島村 恒平

1 MIXI GROUPの概要

2 セグメント概要

┃スポーツ

┃ライフスタイル

┃デジタルエンターテインメント

┃投資

3 キャピタルアロケーション方針

4 サステナビリティの取り組み

5 中期ビジョン (2026年3月期通期決算資料再掲)

6 Appendix



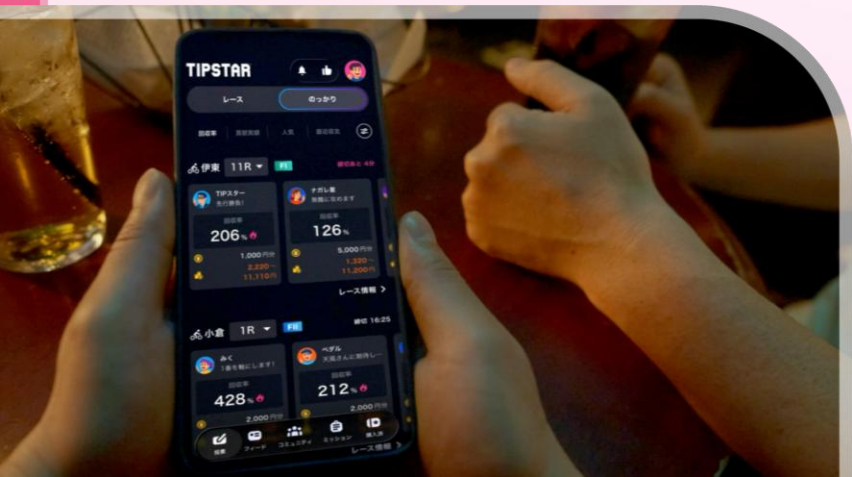
FY2026 Q4 再掲

MIXI



中期ビジョン

——「We-Timeエコノミー」における成長戦略——



「We-Time」の価値が高まる要素

1 AIによる「余暇時間」の創出

AIが仕事や家事を効率化し、「We-Time」に費やす余暇が増加

2 「信頼」に基づく消費の拡大（We-Timeとしての消費機会拡大）

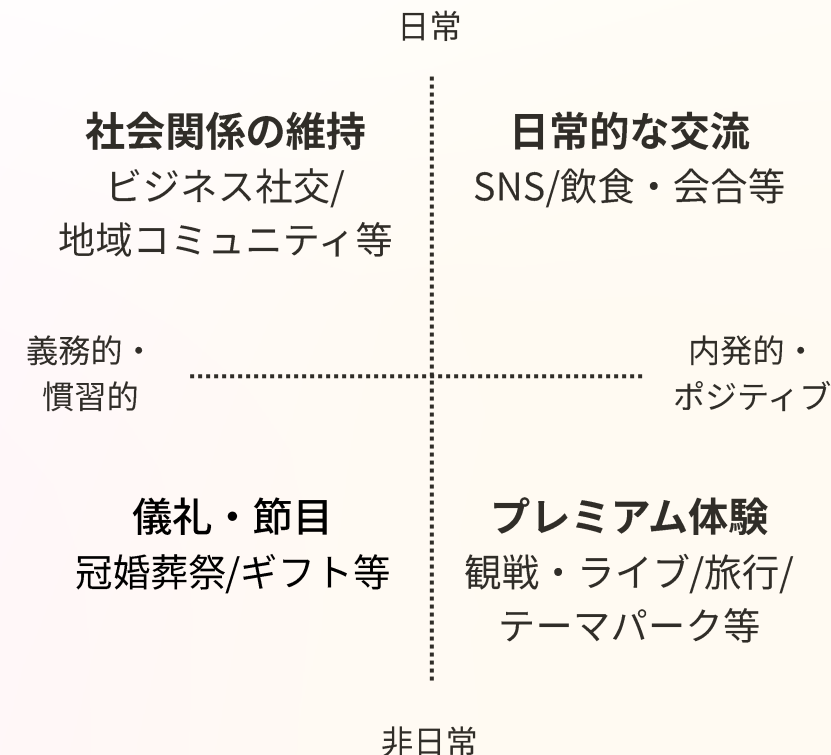
AIで情報が氾濫するほど信頼できる相手との会話や推奨が消費の起点となり「誰かと一緒に」楽しむ消費機会が拡大

3 「共体験」のプレミアム化

1人の時間が安く手軽に満たされるほど、誰かと感情を共有する体験の希少性が高まり、「特別な価値」となる

「We-Timeエコノミー」全体像

グローバルで市場規模は
10兆～15兆ドル規模（当社推計）



MIXI の勝ち筋



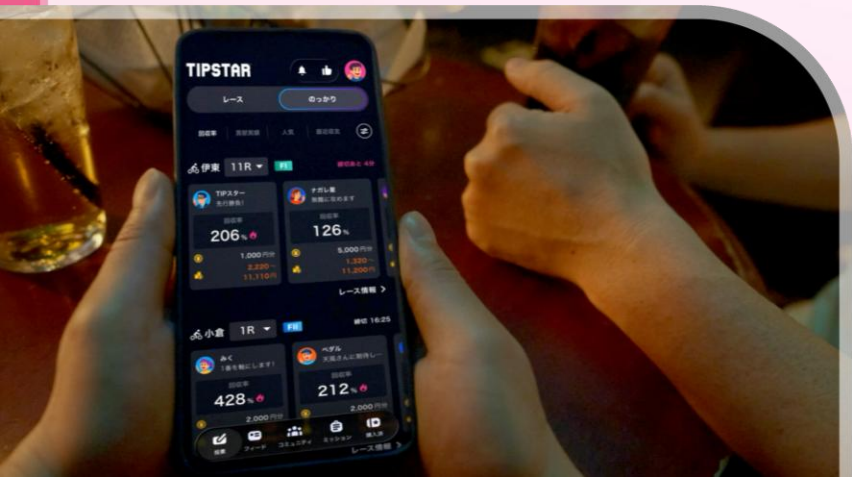
- 1 口コミで広がる**
口コミだから低コスト
- 2 友だちと遊ぶから続ける**
みんなでやるから、続けたいくなる
- 3 共同体験で利用意欲・エンゲージメントを高める**
みんなでの盛り上がりが利用や消費を後押し

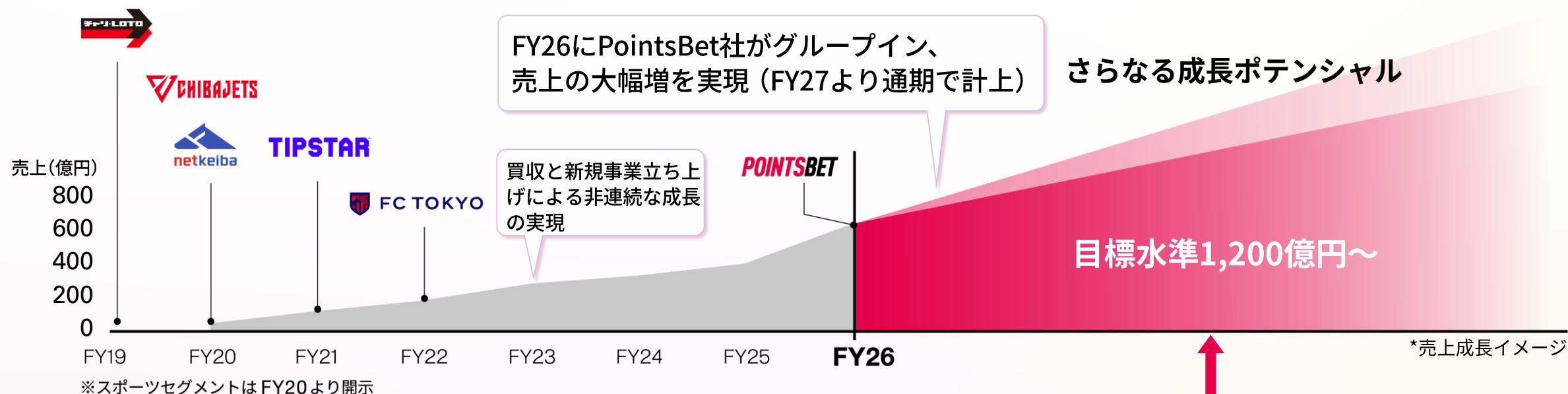
高利益率の事業の実現

(全盛期のSNS「mixi」は40%超の利益率、モンスターストライクは60%超の利益率)



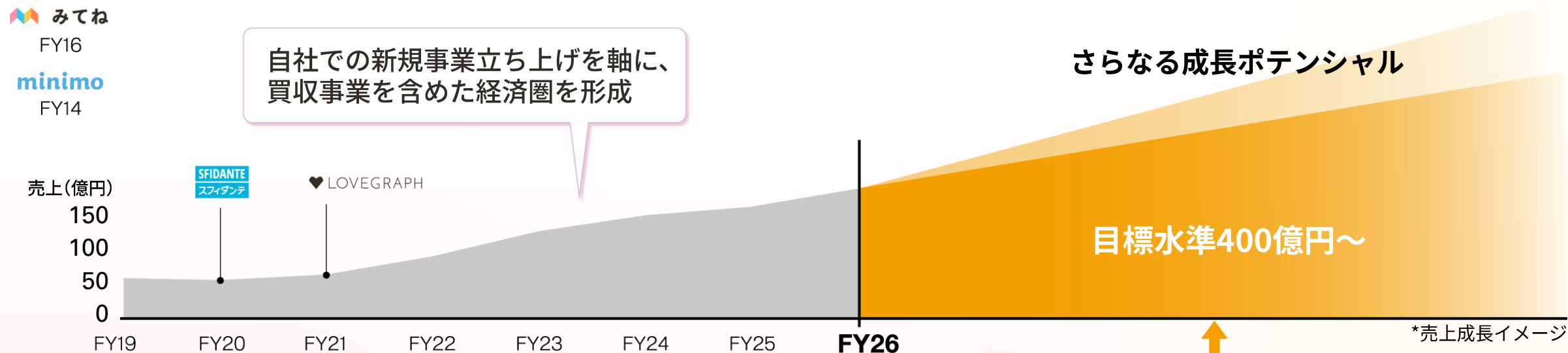
「We-Timeエコノミー」における 事業ポートフォリオと成長戦略





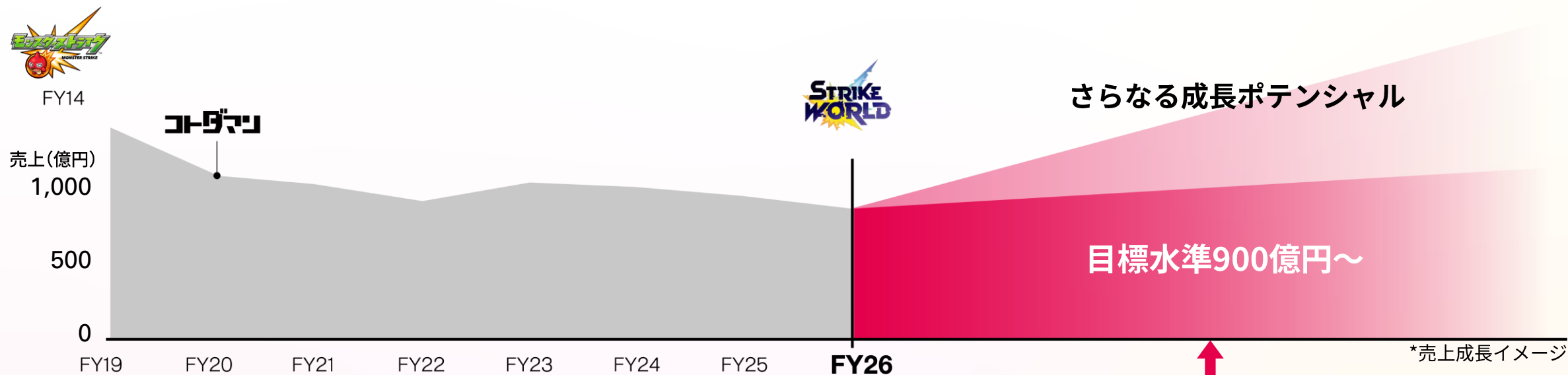
目標実現に向けた成長戦略

- ・ 新たなベッティング体験（ソーシャルベッティング）の拡大
- ・ PointsBet社とともにソーシャルベッティングをグローバルで実現
- ・ 観戦事業のさらなる収益改善/ブランディング活用



目標実現に向けた成長戦略

- ・みてね経済圏を拡大し、デジタル商材への注力により収益性強化
- ・海外におけるみてね事業規模の拡大と早期収益化

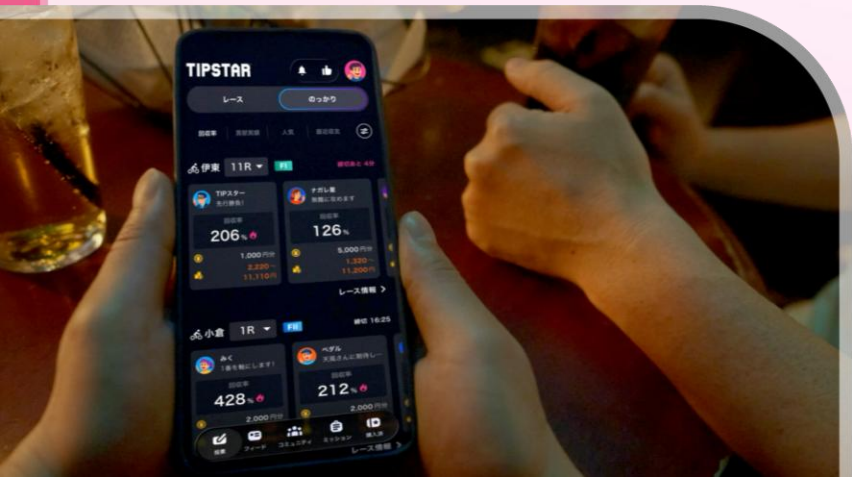


目標実現に向けた成長戦略

- ・ 国内におけるモンスターの利益水準維持
- ・ 日本発IPと連携した海外市場の開拓



財務目標及び財務・ガバナンス方針



- 効率性（EBITDAマージン、ROE）の向上を優先しつつ、トップライン向上を目指す

指標		FY26 実績	目標水準	目標実現に向けた基本方針
トップライン	売上高	1,713 億円	3,000 億円	ソーシャルベッティングやみてねの成長を加速することにより、FY26の2倍水準の売上高を目指す
	重点投資領域*1 売上高成長率(年平均)	——	10 %	
効率性	優先指標 EBITDAマージン	18 %	20 %	スポーツ、ライフスタイルの利益構成比を上げることで、全社の収益性を改善
	重点投資領域 EBITDA構成比*2	11 %	60 %	
	優先指標 ROE	9.6 %	15 %	利益水準の向上と財務レバレッジの改善により実現

*1：全社数値からモンスター国内・台湾・香港・マカオ・その他（全社コスト等）を抜いた合計

*2：重点投資領域のEBITDA合計÷事業セグメントEBITDA合計

- 指名・報酬委員会の委員長に独立社外取締役を選任するなどガバナンス面の強化を行うとともに、取締役は中期ビジョンと連動した報酬設定とすることで、中期ビジョン実現に向けた規律を強化

1 指名・報酬委員会運営基盤の強化 実施済み

2025年6月、指名・報酬委員会の委員長に独立社外取締役を選任。業務執行取締役の評価・選定における客観性を強化。年間計画に基づく委員会の開催のほか、月次の委員長-事務局定例も実施。取締役会に対しては中間報告（10月）・総括報告（4月）を実施し、活動の透明性を確保

2 取締役の指名・評価を中心としたガバナンスの強化 実施済み

取締役人材要件の見直し、IDP（育成計画）の策定フローなど取締役指名関連の制度を改定。また、社外役員を含めた「ピアレビュー」の仕組みを導入するなど、関連する諸制度を大幅刷新

3 報酬制度の変革による株主の皆さまとの利害一致* 推進中

取締役報酬ポリシーの策定をはじめ、中期ビジョンと強く連動させる新制度（STI/LTI双方の業績連動）の導入や変動報酬比率の引き上げ、マルス・クローバック条項の新規導入等を指名・報酬委員会として諮問し、必要な機関決定を経て制度化を進める予定

*2026年6月の株主総会への付議を予定

1 MIXI GROUPの概要

2 セグメント概要

┃スポーツ

┃ライフスタイル

┃デジタルエンターテインメント

┃投資

3 キャピタルアロケーション方針

4 サステナビリティの取り組み

5 中期ビジョン (2026年3月期通期決算資料再掲)

6 Appendix

CORPORATE LOGO

コーポレートロゴ

MIXI**PURPOSE**

存在意識

豊かなコミュニケーションを広げ、
世界を幸せな驚きで包む。**MISSION**

何を行うか

「心もつながる」場と機会の創造。

MIXI WAY

意思決定の軸

ユーザーサプライズファースト

VALUES

行動指針

発明・夢中・誠実

ブランドシンボルカラー

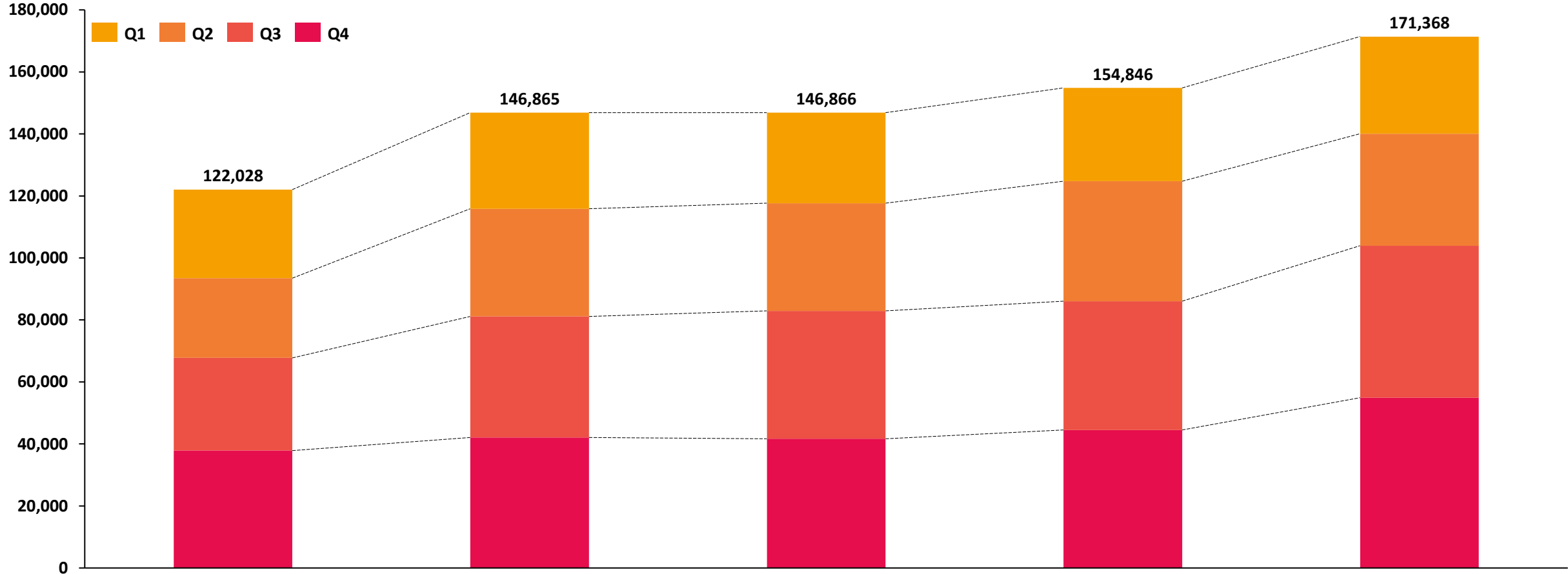
**BRAND SYMBOL
COLORS****TAGLINE**

価値を端的に表すフレーズ

心もつなごう。

四半期別売上高推移

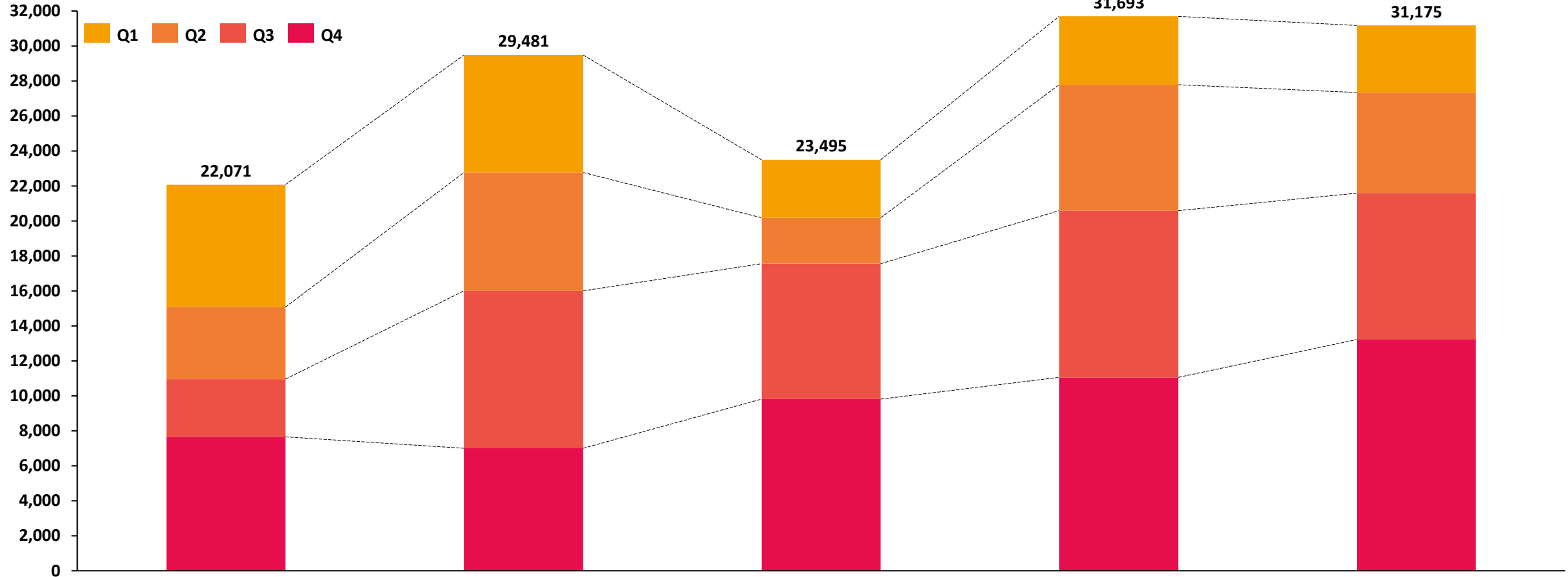
単位：百万円



	FY2022				FY2023				FY2024				FY2025				FY2026			
	Q1 実績	Q2 実績	Q3 実績	Q4 実績	Q1 実績	Q2 実績	Q3 実績	Q4 実績	Q1 実績	Q2 実績	Q3 実績	Q4 実績	Q1 実績	Q2 実績	Q3 実績	Q4 実績	Q1 実績	Q2 実績	Q3 実績	Q4 実績
売上	28,529	25,746	29,866	37,887	31,022	34,711	39,067	42,065	29,207	34,761	41,240	41,658	30,087	38,733	41,532	44,494	31,323	36,105	48,996	54,944

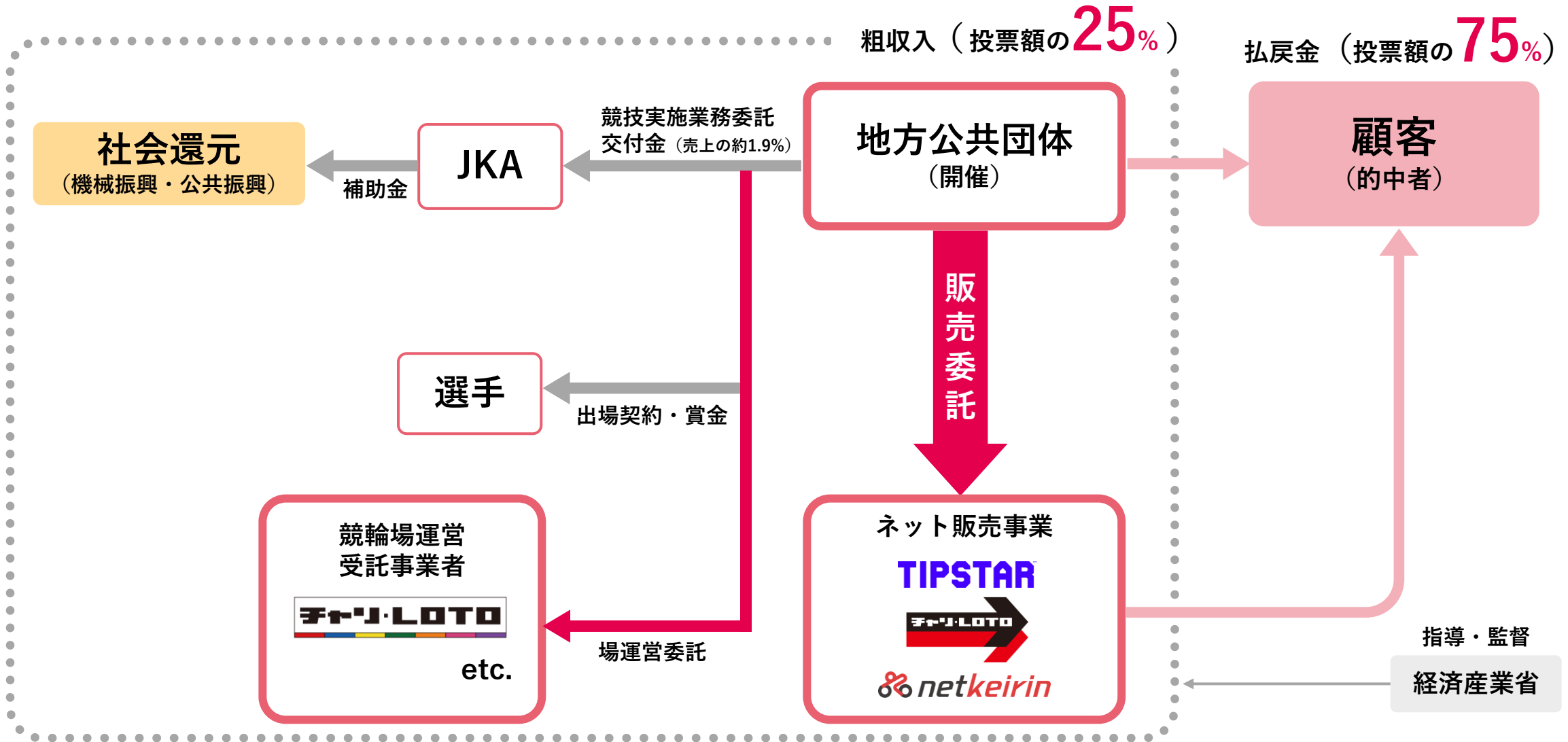
四半期別EBITDA推移

単位：百万円



	FY2022				FY2023				FY2024				FY2025				FY2026			
	Q1 実績	Q2 実績	Q3 実績	Q4 実績	Q1 実績	Q2 実績	Q3 実績	Q4 実績	Q1 実績	Q2 実績	Q3 実績	Q4 実績	Q1 実績	Q2 実績	Q3 実績	Q4 実績	Q1 実績	Q2 実績	Q3 実績	Q4 実績
EBITDA	6,992	4,126	3,300	7,653	6,710	6,774	8,991	7,006	3,314	2,628	7,736	9,817	3,914	7,195	9,533	11,051	3,839	5,749	8,374	13,213

		競輪	オートレース	競馬	競艇
MIXI GROUPが 手掛けるサービス	車券販売			—	—
	Web メディア				—
	場運営		—	—	—



MIXI GROUPにおける競輪場運営状況

形態	競輪場
施設所有	富山競輪場
施設所有・再整備・包括運営	伊東温泉競輪場
包括運営・再整備 (一部施設所有)	玉野競輪場
包括運営	高松競輪場
包括運営	小松島競輪場
包括運営・再整備 (一部施設所有)	広島競輪場



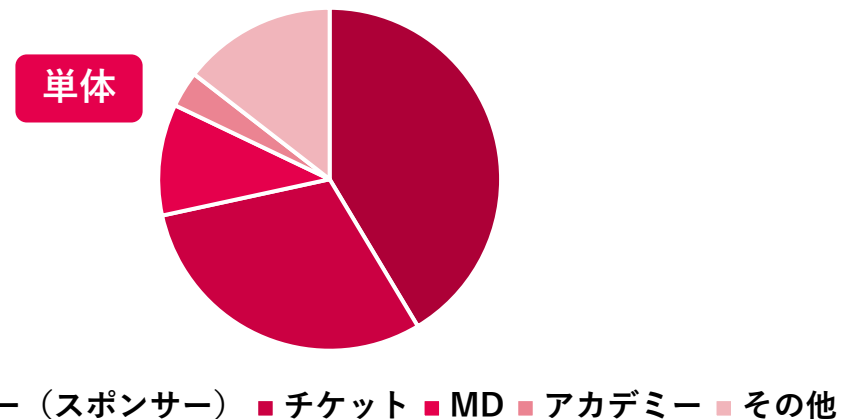
新玉野競輪場



新広島競輪場

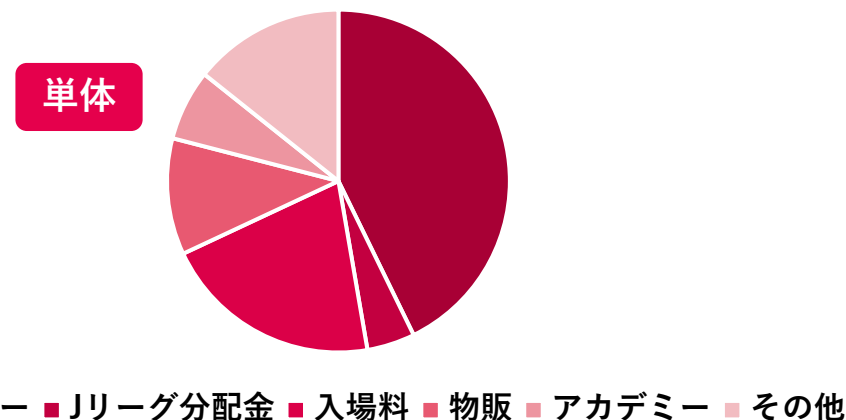


千葉ジェッツ（単体）売上構成（FY25）



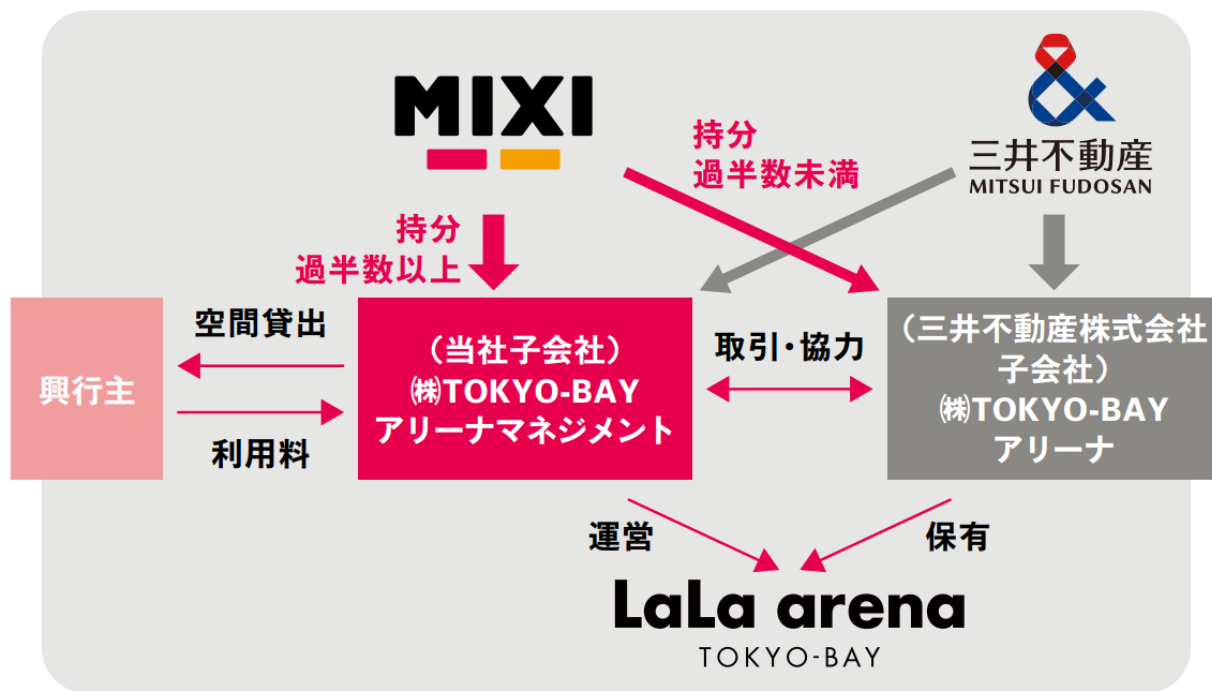
FC TOKYO

FC東京（単体）売上構成（FY24）



- 2024年5月に開業、7月にこけら落とし公演
- 三井不動産と共同で2つの合併会社を設立し、運営

アリーナビジネスモデル



所在地	JR京葉線・武蔵野線「南船橋」駅 徒歩約6分 東京駅から約30分
施設名称	LaLa arena TOKYO-BAY
収容客数	約11,000人
開業	2024年5月29日

「LaLa arena TOKYO-BAY」 イメージ

「LaLa arena TOKYO-BAY」 外観



「LaLa arena TOKYO-BAY」 内観



- スマートフォンで遊べる「ことば」で闘う新感覚RPG
- 文字の精霊「コトダマン」を組み合わせて「ことば」をつくり、ステージクリアを目指す
- 最大4人のオンラインマルチプレイに対応

コトダマン

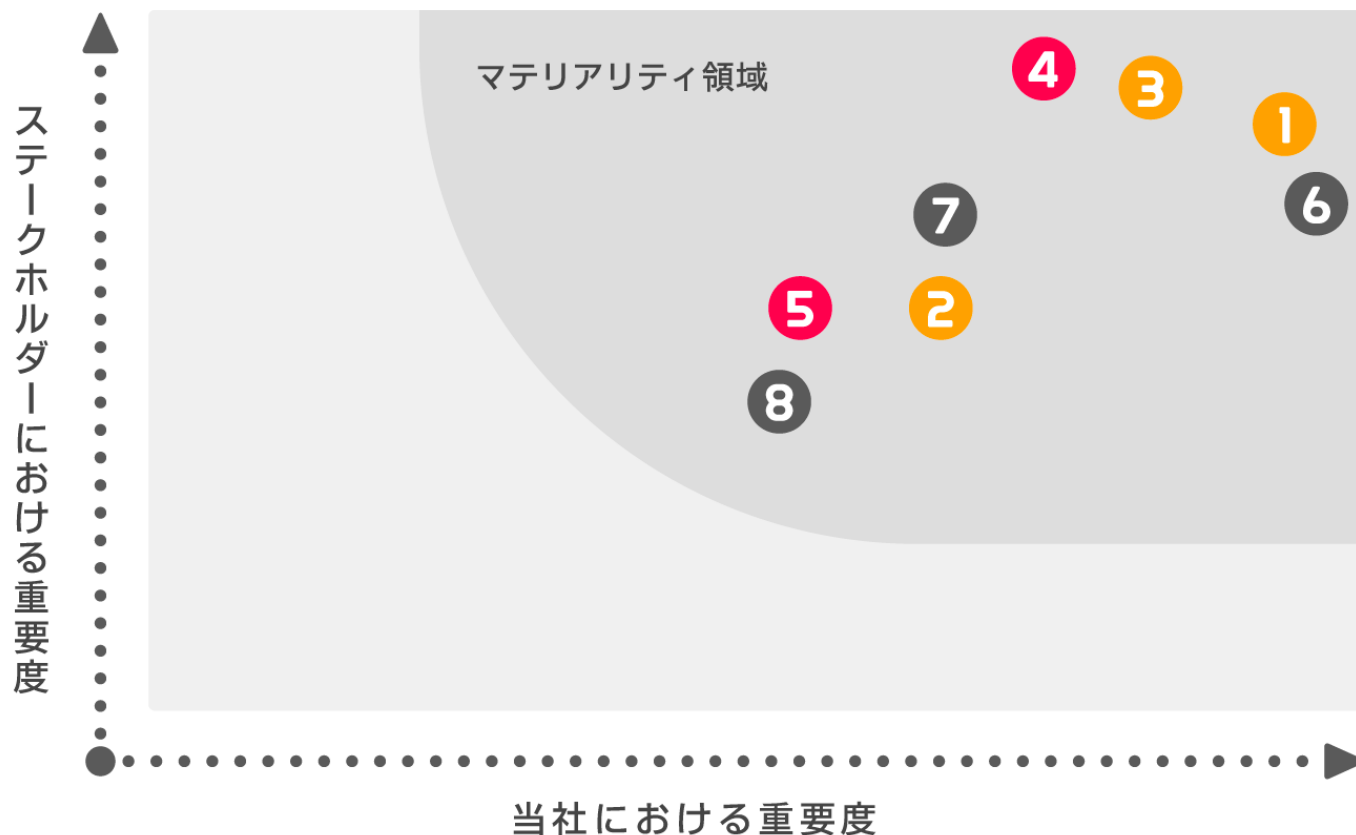
2018年4月
セガよりリリース

2019年10月
MIXIが譲受

モンスターストライクと同様
「みんなでワイワイ」遊べるゲーム



当社は企業活動・ステークホルダーへのインパクトという視点から企業活動を通して実践するテーマとして、以下8つのマテリアリティ（重要課題）を設定しました。コミュニケーションサービスを生み出す企業として、人・地域・社会のつながりの創出とイノベーションの促進を価値創造の源泉とするともに、健全なサービス運営に真摯に取り組んでまいります。また、情報セキュリティとプライバシー・多様な人材の活躍・ガバナンスという経営基盤の強化・改善を推進してまいります。



事業機会

- ① コミュニケーションの場と機会の創出
- ② イノベーションの促進
- ③ 地域社会との共栄

リスク

- ④ 健全なITサービスの運営
- ⑤ 安全・安心なスポーツ等イベントの運営

全社・コーポレート

- ⑥ 情報セキュリティとプライバシー
- ⑦ ダイバーシティ、エクイティ&インクルージョン
- ⑧ ガバナンス強化

サステナビリティ基本方針

「私たちは、心もつなぐコミュニケーションサービスを創造することで、豊かな社会に貢献します。」

マテリアリティ

当社は以下8つのマテリアリティ（重要課題）を定め、それらを3つの区分で整理しそれぞれKPI（評価指標）を設けています。これら各マテリアリティに沿って様々な活動を推進しています。

■マテリアリティに関する考え方



■3つの区分

①アウトカム

当社のパーパスにも通ずる、「コミュニケーションの場と機会の創出」を、当社のアウトカムと位置づけています。

②アウトプット（事業の基盤）

①の「コミュニケーションの場と機会の創出」実現のために、「イノベーションの促進」「DE&I」「地域社会との共栄」をアウトプット（事業の基盤）と位置づけています。

③会社の土台

②「アウトプット（事業の基盤）」実現に向け、「健全なITサービスの運営」等の4つのマテリアリティを会社の土台として捉えています。

マテリアリティ毎に評価指標を設定し、その実績および取り組みの進捗を継続的にモニタリングしています。また、サステナビリティ推進責任者（取締役 上級執行役員 CFO）を通して、3か月に1回取締役会に報告しています。

マテリアリティ	評価指標と実績	
コミュニケーションの場と機会の創出	■ 評価指標 当社提供プロダクトの月間アクティブユーザー数(平均)および 当社グループ運営試合・イベント等の来場者数合計	■ FY2025実績 —※
イノベーションの促進	イノベーション ■ 評価指標 以下に該当するサービスの提供 ● 市場への影響（サービス提供により「文化」を刷新するような大きな影響） ● 顧客エンゲージメント（サービスを通じた圧倒的な顧客エンゲージメント構築）	■ FY2025実績 1件（「mixi2」の開発・提供）
	インベンション ■ 評価指標 〈新技術の開発・導入〉 ● 新しい業務プロセスへの移行や基盤になる開発 ● 基盤開発における開発の取り組み ● 新しい技術プラットフォームの開発 ● プロダクト開発サイクルの短縮 ● 技術的課題の解決やブレークスルー ● ネットワーク効果における再現性のある施策の投入 〈知的財産〉 ● 特許出願数 ● 特許登録件数	■ FY2025実績 〈新技術の開発・導入〉 27件 ● 「mixi2」に投稿された不適切画像の自動検出 （新しい業務プロセスへの移行や基盤になる開発） ● minimoのレコメンデーション検証フローの最適化 （プロダクト開発サイクルの短縮） ● 地方競馬向けAI予想オッズを独自開発 （技術的課題の解決やブレークスルー）など 〈知的財産〉 ● 特許出願数 252件 ● 特許登録件数 244件
ダイバーシティ、エクイティ&インクルージョン	■ 評価指標・FY2025実績（期末時点） 人的資本経営 ※以下、MIXI単体の実績・目標値 ● 組織サーベイによるエンゲージメントスコア 75% （FY26目標：75%以上） ● 女性管理職比率 16.8% （今後の目標：20%以上） ● 中途社員の管理職比率 90.9% ● 外国人管理職比率 1.4% ● 男性の育休取得者比率 52.4% ● 男性の育休からの復職率 100.0% ※FY26予算：従業員一人当たりの研修費用及び自己啓発費用 年間107,445円（前年比：+10,174円）	健康経営 3年連続で下記認定を取得 ● 健康優良企業「銀の認定」（健康保険組合連合会東京連合会） ● 健康経営優良法人2025（経済産業省） 次世代育成（通期累計） ● 中学生・高校生の企業訪問受け入れ数：92校/138時間/842名

マテリアリティ	評価指標と実績	
地域社会との共栄	■ 評価指標・FY2025実績（通期累計） <MIXI> ● Kids VALLEY 48日間/153時間/1,056名 ● プログラミングサマーキャンプ 1日間/3時間/22名 ● 渋谷区部活動支援 28日間/56時間/49名 ● 渋谷区内私立中学校学習支援 15日間/31時間/599名	<FC東京> 地域貢献活動件数 1,187件 <千葉ジェッツ> 地域貢献活動件数 145件
健全なITサービスの運営	■ 評価指標 啓発活動・不正行為への対応 ● 学校/自治体への情報モラル講演活動 ● 捜査機関からの照会 ● スマホゲームにおけるアカウント停止対応 ● 未成年者契約取り消し ● TIPSTARにおけるギャンブル依存対応	■ FY2025実績 —※
安全・安心なスポーツ等イベントの運営	■ 評価指標 安全・安心なイベント運営の対応 <MIXI> 自社運営チケット販売サイト「モンスターTICKET」を通じた来場者管理など <FC東京> 「Jリーグ共通観戦マナー＆ルール」および 「FC東京試合運営管理規程」に沿った試合運営	<千葉ジェッツ> 「B.LEAGUE共通観戦マナー＆ルール」および 「千葉ジェッツオフィシャル観戦マナー＆ルール」に沿った 試合運営 ■ FY2025実績 —※
情報セキュリティとプライバシー	■ 評価指標・FY2025実績（通期累計） 情報セキュリティ研修	受講者数：1,425/1,425名（受講率：100%、2025年3月末時点）
ガバナンス強化	■ 評価指標・FY2025実績（通期累計） コンプライアンス ● 重大なコンプライアンス違反件数 1件（チャリ・ロト社の役職員による不適切な資金のやり取りについて） ● コンプライアンス研修（2025年3月末時点） 受講者数 1,425/1,425名（受講率：100%）	外部評価機関の評価（2025年3月時点） ● MSCI「AA」 ● FTSE Russell ESG Score「3.2」 コーポレート・ガバナンス（2025年6月27日現在） ● 女性取締役比率 14.3% 社外取締役比率 42.9% 独立取締役比率 42.9%

当社のサステナビリティ活動は、国内外の各種機関からの評価を獲得しており、さまざまなESG指数（インデックス）の構成銘柄に選定されています。また当社は、年金積立金管理運用独立行政法人（GPIF）が採用する、国内株式を対象とした6つのESG指数のうち、5つのESG指数の構成銘柄に選定されています。

ESG評価機関からの評価



MSCI ESGレーティング

モルガン・スタンレー・キャピタル・インターナショナル社が、世界の企業を対象にESGへの取り組みや情報開示の観点で格付けする「MSCI ESGレーティング」において、2024年に「AA」評価を獲得しました。

ESG指数（インデックス）組み入れ状況

2025 CONSTITUENT MSCI日本株
ESGセレクト・リーダーズ指数

MSCI日本株ESGセレクト・リーダーズ指数※

MSCIが、ESG評価に優れた日本企業を選別して構築される指数です。

2025 CONSTITUENT MSCI日本株
女性活躍指数 (WIN)

MSCI日本株女性活躍指数 (WIN)※

MSCIが、性別多様性に積極的に取り組む日本企業を選定して構築される指数です。

FTSE Blossom
Japan Sector
Relative Index

FTSE Blossom Japan Sector Relative Index

グローバルインデックスプロバイダーであるFTSE Russellにより構築され、各セクターにおいて相対的に、ESGの対応に優れた日本企業のパフォーマンスを反映するインデックスで、セクター・ニュートラルとなるよう設計されています。

また低炭素経済への移行を促進するため、特に温室効果ガス排出量の多い企業については、TPI経営品質スコアにより改善の取り組みが評価される企業のみを組み入れています。



S&P/JPXカーボン・エフィシエント指数

東京証券取引所が算出・公表している東証株価指数（TOPIX）構成企業において、環境情報の開示状況、炭素効率性の水準に着目して、構成銘柄のウェイトを決定する指数です。



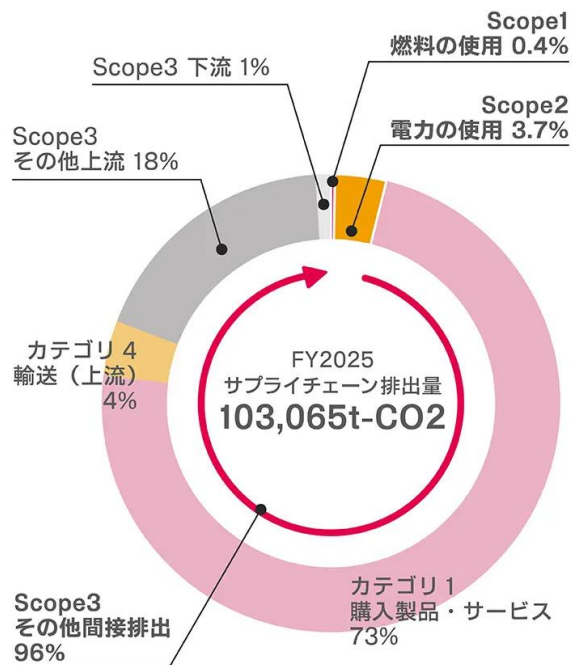
Morningstar日本株式ジェンダー・ダイバーシティ・ティルト指数（除くREIT）

Equileapが提供するデータと評価手法に基づき、ジェンダー・ダイバーシティに関する方針や取り組みが企業文化として浸透しており、ジェンダーにかかわらず従業員に平等な機会を約束している日本企業を対象とした指数です。構成銘柄は、スコアに基づき5つのグループに区分されています。当社は5段階の中で最高位の「グループ1」に格付けされました。

当社は、TCFD提言への賛同を2022年6月に表明するとともに、提言に基づく4つの柱（ガバナンス、リスク管理、戦略、指標と目標）を継続して開示しています。また、気候関連のリスクと機会を管理するための指標として、Scope1,2の温室効果ガス排出量に加え、Scope3の温室効果ガス排出量算定を行っています。

■温室効果ガス排出量実績

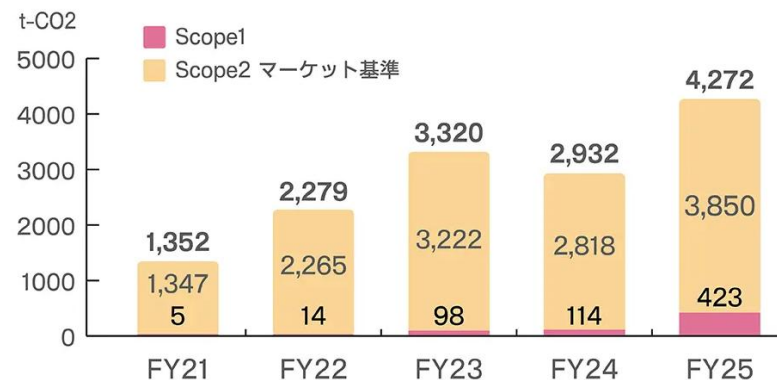
サプライチェーン排出量
(t-CO2)



排出量推移 (t-CO2)

排出量推移 (t-CO2)	FY21	FY22	FY23	FY24	FY25
Scope1	5	14	98	114	423
Scope2 マーケット基準	1,347	2,265	3,222	2,818	3,850
Scope1、2 小計	1,352	2,279	3,320	2,932	4,272
Scope3	-	-	92,162	104,064	98,793
サプライチェーン排出量総計	-	-	95,482	106,996	103,065
ご参考 Scope2 ロケーション基準	1,342	2,174	2,974	3,264	4,194

Scope1、2 別排出量推移 (t-CO2)



当社は、気候変動が引き起こす影響が経営リスクになることを認識しており、今後も継続した排出量算定を行うとともに、各事業セグメントにおける省エネルギー化、再生可能エネルギー等の活用を通じた排出量削減に努めていきます。

当社は、TNFD提言への賛同を2025年5月に表明し、提言に基づく4つの柱（ガバナンス、リスク管理、戦略、指標と目標）を開示いたしました。今後も事業活動により生物多様性に与える影響を把握するとともに、適切な情報開示に努めてまいります。

なお、対象とした事業セグメントにおいて、自然資本への依存とインパクトが大きいと評価される事業はなく、水リスクが高い事業拠点ありませんでした。今後は、事業の変化に合わせて分析対象を拡大するとともに、シナリオ分析によるリスクと機会の特定に関しても検討してまいります。

■事業セグメントごとの自然資本への依存

対象セグメント	供給サービス				調整・維持サービス										調整・維持サービス						
	バイオマス供給	淡水供給	遺伝物質	動物由来のエネルギー	花粉媒介	生物的防除	土壌と土砂の保持	洪水緩和	水流調整	降雨パターンの調整	地域の気候調整	世界的な気候調整	生育地と生育環境の維持	固形廃棄物浄化	土壌調節	暴風雨の緩和	水質浄化	大気浄化	騒音減衰	その他の調整維持サービス（騒音以外）	
デジタルエンタメ、ライフスタイル		VL				VL	VL	VL	VL	VL	L	VL				VL					
スポーツ（ベッティング事業）		VL				VL	VL	VL	VL	VL	L	VL		VL		VL			VL		
スポーツ（観戦事業）	L	L		M		VL	VL	M	M	M	L	M	VL	M	VL	M	VL	L	VL	VL	

■事業セグメントごとの自然資本へのインパクト

対象セグメント	陸	淡水		海洋	資源	大気		汚染		
	土地利用の面積	水使用量	淡水利用の面積	海底利用の面積	その他の生物資源の採取	GHG 排出	非 GHG 排出	固形廃棄物排出	有毒汚染物質排出	妨害（騒音、光）
デジタルエンタメ、ライフスタイル	M	L				L	VL	VL	L	L
スポーツ（ベッティング事業）	M	L				VL	VL	L	VL	VL
スポーツ（観戦事業）	M	L	L	L	VL	L	VL	L	L	M

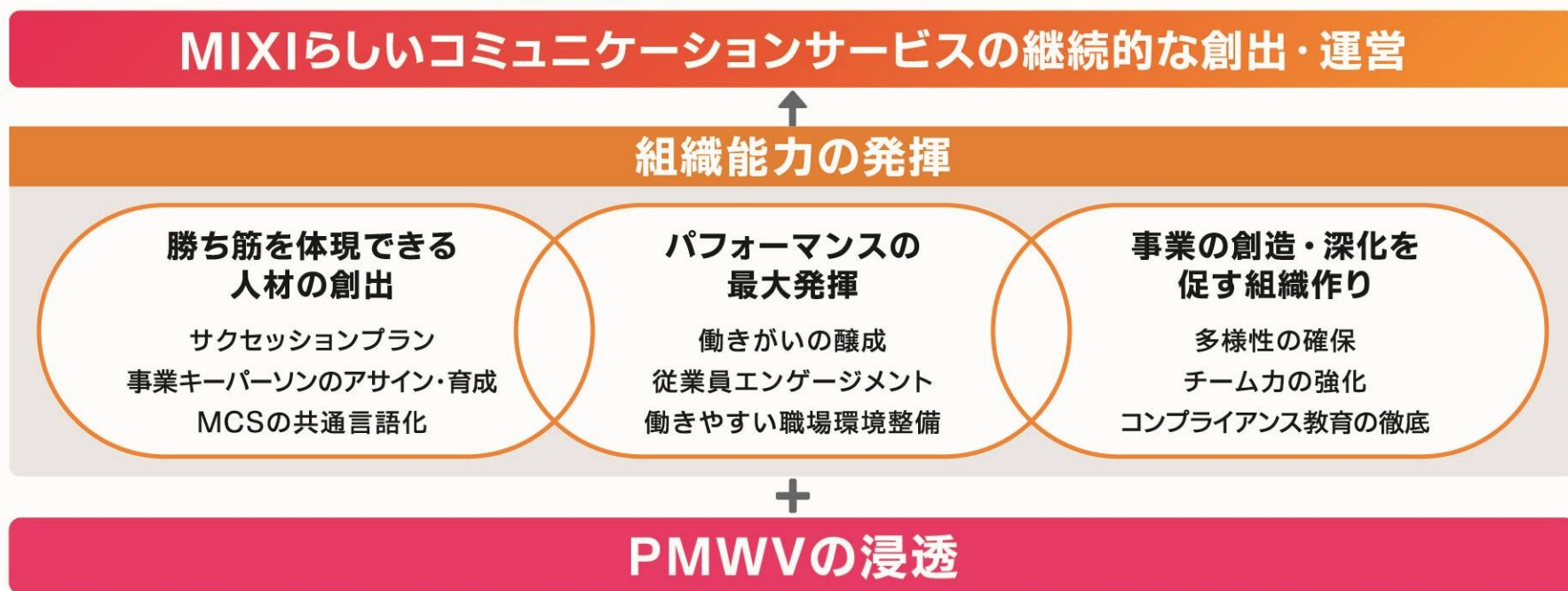
※VL=Very Low（非常に低い）、L=Low（低い）、M=Medium（中程度）、H=High（高い）、VH=Very High（非常に高い）

当社はPMWV（Purpose：Mission：MIXI Way：Values）に基づきコミュニケーションを軸とした事業を展開しており、デジタルエンターテインメント、ライフスタイル、スポーツ、投資領域等へ事業の幅を広げ、多角的な事業運営を行っております。

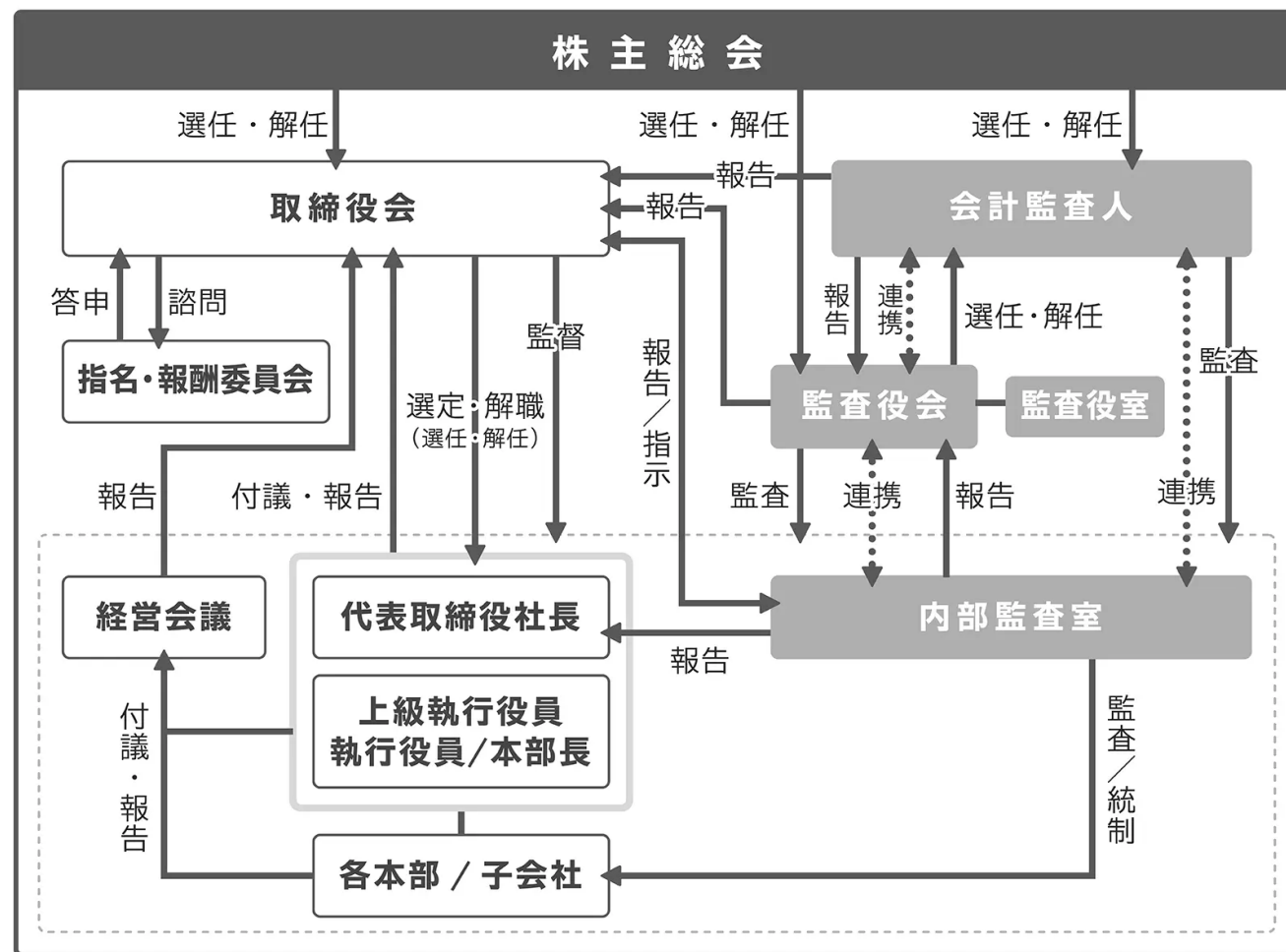
＜豊かなコミュニケーションを広げ、世界を幸せな驚きで包む。＞というパーパスの実現が当社にとって最も重要なゴールであり、その実現に向けて＜「心もつながる」場と機会の創造。＞というミッションを掲げております。

「心もつながる」場と機会とは、当社が提供するコミュニケーションサービスそのものであり、その担い手となる「人材」は当社における価値創造・競争優位の源泉であるため、人的資本を最も重視すべき資本の一つと位置付け、積極的な投資を行っています。

人的資本経営のゴールである「MIXIらしいコミュニケーションサービスの継続的な創出・運営」を実現していくために、＜PMWVの浸透＞＜組織能力の発揮＞の2点を人材戦略の柱として位置付けております。



- 組織形態 監査役会設置会社
- 取締役人数 7名、うち3名が社外取締役・社外取締役比率42%（7名中3名）



取締役 上級執行役員



木村 弘毅
代表取締役社長 CEO



島村 恒平
CFO



村瀬 龍馬



笠原 健治
ファウンダー

社外取締役



藤田 明久 **独立役員**



渡瀬ひろみ **独立役員**



河合 俊明 **独立役員**

監査役



西村 裕一郎 **独立役員**



平尾 智是 **独立役員**



上田 望美 **独立役員**



高山 清子 **独立役員**

上級執行役員



奥山 翔
ソーシャルベッティング事業本部担当



小林 完爾
CS本部 / コンプライアンス本部 / コーポレートデベロップメント本部担当



兼吉 完聡
デジタルエンターテインメントパブリッシング本部 / エンターテインメントクリエイション本部担当

執行役員



亀山直生
CISO
セキュリティ室担当



横山 義之
CDO
デザイン本部担当



吉野 順平
CTO
開発本部担当



三島 圭介
デジタルエンターテインメントオペレーションズ本部担当

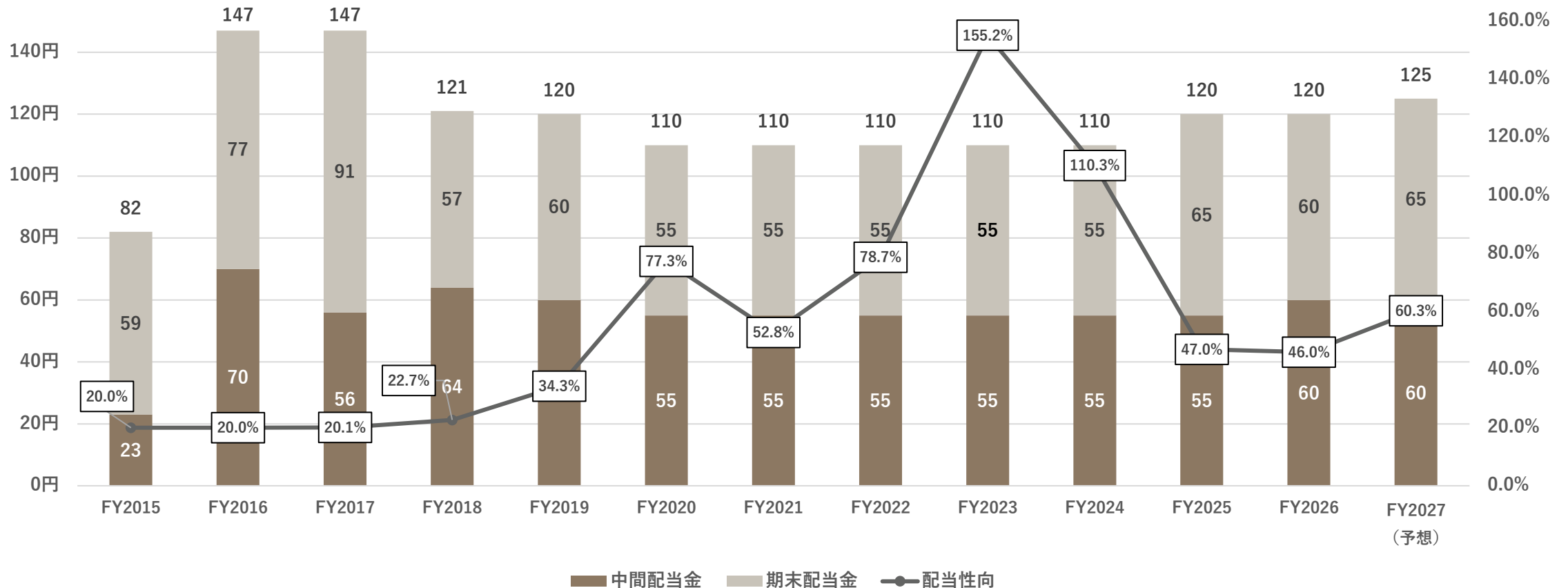


田村 征也
ライブエクスペリエンス事業本部担当

株主還元（配当金推移）

- FY2027より、連結配当性向40%または株主資本配当率（DOE）5%を目安に配当を行う

配当金推移



株主還元（自己株式の分割・取得・消却の履歴）

株式分割の履歴

効力発生日	分割比率	分割後の株式数（株）
2014年7月1日	1:5	83,203,000
2013年4月1日	1:100	15,510,600

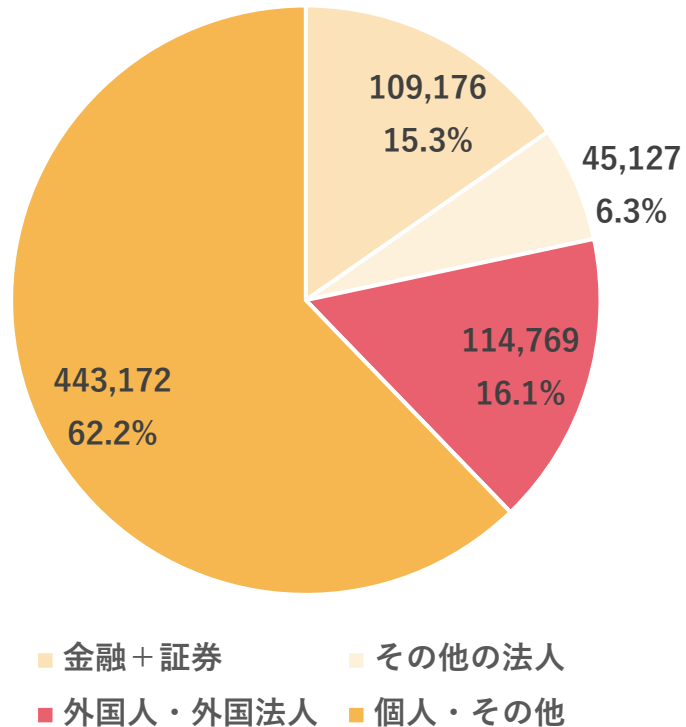
自己株式の取得履歴

取得期間	取得株式総数（株）	取得総額（円）
2025年5月15日～2025年11月17日	2,949,400	9,499,771,900
2024年5月13日～2025年3月31日	2,639,300	7,458,018,300
2023年5月15日～2023年8月16日	2,810,600	7,499,844,800
2021年5月10日～2021年9月16日	2,839,600	7,499,784,900
2018年5月15日～2018年6月7日	2,795,800	9,999,931,000
2017年5月11日～2017年7月7日	1,542,700	9,999,762,000
2016年11月10日～2017年3月24日	2,201,400	9,999,967,000
2016年5月13日～2016年7月19日	2,526,300	9,999,856,500

自己株式の消却履歴

消却日	株式数（株）
2026年5月29日	2,800,000
2025年5月30日	2,400,000
2023年9月29日	4,500,000
2017年8月31日	3,648,600
2016年8月31日	2,416,050

所有者別株式分配状況（1単元の株式数100株）



※自己株式6,224,404株（62,244単位）は
「個人・その他」に含めて記載しています。
※単元未満の株式数は106,450株です。

大株主および所有者別株式分配状況

株主	持株数(株)	持株比率(%)
笠原 健治	32,521,900	49.95
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	5,312,200	8.16
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	1,614,700	2.48
木村 弘毅	1,414,800	2.17
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505001	1,108,647	1.70

※ 当社は6,224,404株の自己株式を保有しています。
当該株式には議決権がないため上記大株主からは除外するとともに、
持株比率の算出についても、当該株式数を控除しています。

心もつなごう。

MIXI



本説明会及び資料に記載された業績見通し等に関する内容は、発表日時点での当社の判断に基づくもので、

その情報の正確性を保証するものではありません。

様々な要因の変化により、実際の業績と異なる可能性があることをご了承ください。